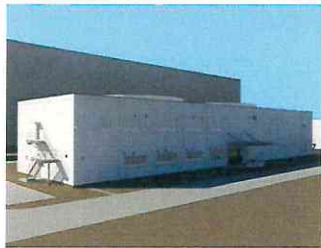
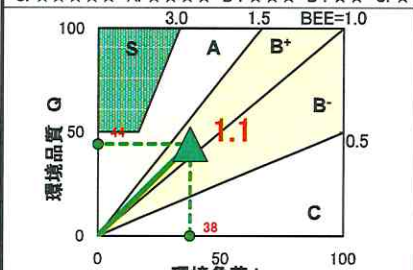
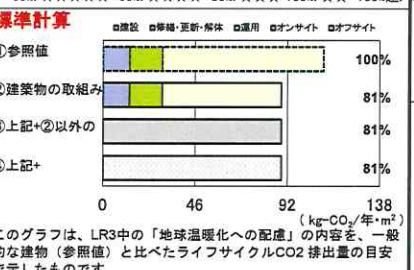
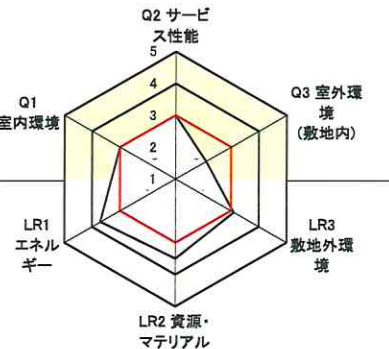
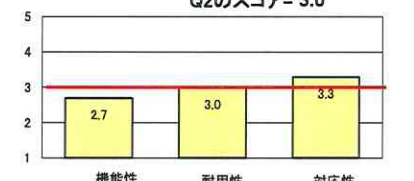
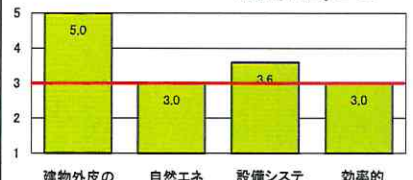
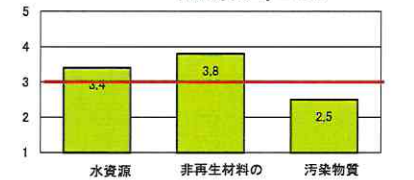
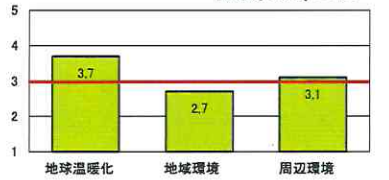


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	姫路天然ガス発電株式会社 姫路	階数		
建設地	兵庫県姫路市飾磨区妻鹿日田町1	構造		
用途地域	工業専用地域、工業地域、法22条	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	事務所	評価の段階		
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日		
敷地面積	219,667 m ²	作成者		
建築面積	1,206 m ²	確認日		
延床面積	2,275 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
BEE = 1.1 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★  環境品質 G 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0  音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0  機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.1  生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7  建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5  水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1  地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合 高効率機器及び高性能断熱材を採用することで、省エネ基準より優れた建築物としている。	その他 特に無し	
Q1 室内環境 窓を複数設けることで、自然換気及び自然採光等の自然エネルギーを取り込んだ室内空間となるように配慮した。	Q2 サービス性能 壁長さを低く抑え、高い階高を確保することで、将来のプラン変更等にフレキシブルに対応できるように配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BPI_m=0.69、BEI_m=0.74	LR2 資源・マテリアル 節水機器を積極的に採用することで、水資源保護に寄与した。	LR3 敷地外環境 省エネに優れた建築物とすることで、運用時に発生するCO₂発生量を低く抑えられるように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される